COP[day1]+(BS]Rituximab療法(同日)	_						
ID	COP	Γdav	11-	 			
氏名					h癅	法【同	
				X1111G		_	
年齢			<u>週</u> 毎	<u> </u>		<u>ース予定</u>	<u>.</u>
科名 病棟		<u>报</u>	患	悪性	リンノ	<u> 『腫</u>	
主治医 指導医	_	HBs∄	坑原()、HBsŧ	亢体()、HBc抗体	()
スケジュール							
		day1	day2	day3	day4	day5	
リツキシマブBS・ 375 mg/m	2	Ţ					
プレドニン(プレドニゾロン) 60 mg/m ²		↓	Ţ	1	ţ	↓ day 2	からは内服
オンコビン(ビンクリスチン) 1.4 mg/m ²		[] ↓ ·					
エンドキサン(シクロホスファミド) 750 m		<u>↓</u>	0 May		- la - 4		
【注意】 * リツキシマブ施行時は体温・ 通常量より減量する際の理由	派扫•皿注》	則正•SpU	2 測疋(Jup但則I	_ છ ∟′₀	ドフニと	
通吊里より 成里9の除り 连田							
(レジメン)							
	哈水中长						
【初回のみ】 *初回投与は必ず入	元じ夫肔						
day1							
① イブプロフェン 100 mg	<u>錠</u> デザ	レックス	5 mg_		錠	内服	
☆ 30分後より							
② 生食 500 mLにて血管確保・		維	持(20	mL/時間	引)		
③ リツキシマブBS + 生食	適量(10 ·	倍希釈)	•				
◎ 輸液ポンプにて 50 m	L/時間 で	で点滴静液	È				
* 注: <u>総量 600 mLを</u>	· <u>超える時</u> (2	<u> まテルモタ</u>	<u> </u>	<u>-を使用</u>			
④ 50 mL/時間で 30分点滴静注した	:後、患者 <i>0</i>	り状態に変	変化が	なければ	:		
◎ 輸液ポンプにて 100 г	nL/時間 で	で点滴静液	È				
⑤ 100 mL/時間で 30分点滴静注し	た後、患者	の状態に	変化が	「なけれ」	ば		
◎ 輸液ポンプにて 150 г	nL/時間 で	で点滴静	È				
C Interest to 1 = 4		- 411741-0194 4	<u>-</u>				
⑥ 150 mL/時間で 30分点滴静注し	た後、患者	の状態に	変化が	ヾなけれ!	ざ		

福岡大学化学療法プロトコール審査委員会承認(2009年3月27日)B0258 2025年1月17日改訂

COP[day1]+[BS]Rituximab療法[同日】				
◎ 輸液ポンプにて	200 mL/時間 で点滴	静注			
⑦ 200 mL/時間で 30分点滴	静注した後、患者の状態	態に変化がなければ			
◎ 輸液ポンプにて	250 mL/時間 で点滴	静注			
8 250 mL/時間で30分点滴	静注した後、患者の状態	態に変化がなければ			
◎ 輸液ポンプにて	300 mL/時間 で点滴	静注			
⑨ 300 mL/時間で 30分点滴	静注した後、患者の状態	態に変化がなければ			
◎ 輸液ポンプにて	350 mL/時間 で点滴	静注			
⑩ 350 mL/時間で 30分点滴	静注した後、患者の状態	態に変化がなければ			
◎ 輸液ポンプにて	400 mL/時間 で点滴	静注			
① ヴラニセトロンゼリー 2 mg		内服			
⑫ プレドニン	+ 生食 50 mL	点滴静注 5分(600 ml	_/時間)もしくは内服		
③ オンコビン	+ 生食 50 mL	点滴静注 5分(600 ml	_/時間)		
14 エンドキサン	+ 生食 100 mL	点滴静注 60分			
◎ 血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下 90分で点滴静注					
day 2 - 5 プレドニゾロン	錠 内服				
【2回目以降】 第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade 2以下であった場合 day1					

① イブプロフェン 100 mg <u>錠</u> デザレックス 5 mg <u>錠</u> 内服 ☆ 30分後より

② 生食 500 mLにて血管確保・

維持(20 mL/時間)

- ③ リツキシマブBS + 生食 適量 (10倍希釈)・
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

* 注: 総量 600 mLを超える時はテルモ生食 1Lを使用

- ④ 100 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間 で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間 で点滴静注

COP[day1]+【BS]Rituximab療法【同日】

- ⑥ 300 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間 で点滴静注

⑦ グラニセトロンゼリー2 mg

内服

⑧ プレドニン

+ 生食 50 mL

点滴静注 5分(600 mL/時間)もしくは内服

9 オンコビン

+ 生食 50 mL

点滴静注 5分(600 mL/時間)

10 エンドキサン + 生食 100 mL 点滴静注 60分

◎ 血管確保していた生食をエンドキサンと同時滴下 90で点滴静注

プレドニゾロン錠 内服 day 2 - 5

	コース	コース	コース	コース
	/		/	/
リッキシマブBS 開始時刻	+	+	+	ţ
プレドニン開始時刻	+	1	↓	ţ
オンコビン開始時刻	↓	1	↓	ţ
エンドキサン開始時刻	+	1	↓	ţ
確認				

	コース	コース	コース	コース
リッキシマフ [*] BS 開始時刻	1	Ţ	1	1
プレドニン 開始時刻	1	ţ	1	ţ
オンコビン開始時刻	1	1	↓	ţ
エンドキサン 開始時刻	1	1	↓	ţ
確認				